

<b>授業科目名</b>	保健医療英語 (2300240)		
<b>時間割名</b>	保健医療英語 (25205)		
<b>時間割担当</b>	木村正則		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	1 選択
<b>曜日・時限</b>	火・5		

### 授業の目標・概要

海外で病気やけがをした際に必要な英会話について学ぶ。また保健・医療・看護・福祉の現場で、専門職者として外国人に対応する場合に必要な英語の基本表現や会話について、英語のテレビ医療ドラマ等のビデオ教材も活用し、学習する。保健・医療・看護・福祉の現場のさまざまな場面で、英語で対応できる応用力を身につけることを目指す。

### 学習の到達目標

受講者はこの科目を履修することによって

- 1) 英語の発音記号を正しく理解し、英会話において正確に発音できるようになる。
- 2) 看護師として必要かつ基本的な英語の医療用語を理解・使用できるようになる。
- 3) 看護として必要かつ基本的な英会話ができるようになる。

### 授業方法・形式

講義と演習

### 授業計画

基本的にはシラバスで指定した教科書を中心に学習を進めていきますが、必要に応じてプリントを配布したり、ビデオ教材等の視覚教材も併用し、学習の目標を達成します。

- 第1回 クラスオリエンテーションならびに  
患者とのコミュニケーション ユニット1「Getting to know the patient 1」
- 第2回 患者とのコミュニケーション ユニット1 & 2「Getting to know the patient 1 & 2」
- 第3回 患者とのコミュニケーション ユニット2 & 3「Getting to know the patient 2 & 3」
- 第4回 患者とのコミュニケーション ユニット3 & 4「Getting to know the patient 3 & 4」
- 第5回 検査における英語表現 ユニット5「Examination 1」
- 第6回 検査における英語表現 ユニット6「Examination 2」
- 第7回 処方薬について ユニット7「Instructing Medication」
- 第8回 治療現場でのやり取り ユニット8「Treating Patients 1」
- 第9回 治療現場でのやり取り ユニット9「Treating Patients 2」
- 第10回 治療現場でのやり取り ユニット10「Treating Patients 3」
- 第11回 手術室でのやり取り ユニット11「Operation」
- 第12回 妊婦について ユニット12「Pregnancy」
- 第13回 病院について ユニット13「Hospital」
- 第14回 救急患者について ユニット14「Emergencies」
- 第15回 健康管理について ユニット15「Living Healthy Life」

### 成績評価の基準

平常点20%,小テスト30%,期末試験テスト 50%

### 授業時間外の課題

授業内で指定された予習・復習(語彙学習、表現、文法事項など覚える)を必ず行うこと。毎回、授業のはじめに小テストを行います。

### メッセージ

日本を訪れる外国人の数は、うなぎのぼりの状況です。こうした観光客を含め、日本語を母語としない人々に対し、みなさんは医療従事者として接しなければならないことが将来あるかもしれません。そうした時に役に立つ実践的な授業を行いますので、がんばって授業に参加してください。

### 教材・教科書

「実践看護英語-専門用語の習得と英会話能力の養成-」  
浜田真由美(監修)、竹林修一(編著)、英宝社出版  
2014年、1,900円(税別)

### 参考書

辞書を各自必ず持参してください。